

# Gifu Sports

## 第3次将来構想

平成28年度～32年度

公益財団法人 岐阜県体育協会

# Association

# Gifu Sports Association

## Contents

---

|                |   |
|----------------|---|
| はじめに .....     | 1 |
| 今後の施策 .....    | 2 |
| ・競技スポーツ .....  | 2 |
| ・生涯スポーツ .....  | 5 |
| ・組織・施設運営 ..... | 8 |

# はじめに

公益財団法人岐阜県体育協会

会長 小野木 孝二

公益財団法人岐阜県体育協会（以下、「当協会」という。）では、平成17年8月に策定した「第2次将来構想」に基づき、「競技力の向上」と「生涯スポーツの振興」を柱とした各種事業を展開すると共に、平成22年3月に「中期経営計画」を策定し、「公益財団法人への移行」と「指定管理者制度への進出」の2つの目標を掲げて、取り組んできました。

「競技力の向上」については、平成24年に本県で2巡目の開催となった第67回国民体育大会『ぎふ清流国体』に向かた取り組みにおいて、競技団体に対する強化支援事業を実施すると共に、複数の企業が選手を雇用してクラブチームの活動を支える「岐阜方式」を確立するなどの強化体制の整備に取り組むことで、『ぎふ清流国体』における天皇杯・皇后杯の獲得に貢献することができました。

また、国体開催が契機となり、将来に向けて本県の競技力向上に資する取り組みとするために、組織体制の強化と指導者の育成に重点を置いたことで、その後も高い競技力を維持することができています。

「生涯スポーツの振興」については、従前には別々に開催されていた「岐阜県体育大会」と「岐阜県スポーツレクリエーション祭」を統合し、「岐阜県民スポーツ大会」として開催しました。この「岐阜県民スポーツ大会」において、郡市体育協会が県の頂点を目指して競い合う『郡市代表種目』と、誰もが気軽に楽しむことができる『フリー参加種目』『交流体験種目』を併せて実施することで、「県民総参加型のスポーツ大会の開催」を実現し、県民の日常的なスポーツ活動の促進やスポーツ組織の活性化に貢献することができました。

また、県民のスポーツ実施率の向上を図るため、「総合型地域スポーツクラブ」の育成事業を展開しました。現在では、県内の殆どの市町村にクラブが創設され、地域におけるスポーツ環境を向上させるための活動を展開しており、県民のスポーツ実施率も向上しています。

さらに、特に少年期のスポーツ活動を促進させるために「スポーツ少年団」の育成事業を展開することで、生涯スポーツ社会の実現に向けた取り組みを行うことができました。

「公益財団法人への移行」については、公益法人制度改革に対応するため様々な課題を解決し、平成24年4月から公益財団法人に移行することができました。現在は公に認められた法人として、公益目的事業を中心に活動を展開しております。

「指定管理者制度への進出」については、本県の中核スポーツ施設である『岐阜メモリアルセンター』『岐阜県長良川球技場』『スポーツ科学トレーニングセンター（現在は「スポーツ科学センター」）』の3施設において制度導入の方針が示されたことを受け、これを当協会の公益性を最大限に発揮するチャンスと捉え、獲得に向けた取り組みを展開し、平成25年度から3施設の指定管理者となりました。

指定管理者としてのこれまでの3年間は、利用者サービスの向上を図ることで、施設利用の促進に取り組みました。その結果、稼働率の向上を達成し、安定した運営を展開することができています。

当協会が「第2次将来構想」「中期経営計画」において定めた目標については、加盟団体やスポーツ関係者をはじめとする多くの皆様のご支援・ご協力により、概ね達成することができました。

今後、これまで築き上げてきた成果を更に発展させ、当協会が本県のスポーツに永続的に貢献し、全国に誇れる体育協会となるために、「第3次将来構想」を策定しました。

本構想は、平成27年3月に岐阜県が策定した「清流の国ぎふスポーツ推進計画」と本県のスポーツの現状と課題を踏まえ、当協会が平成28年度から平成32年度の5年間において取り組む方針を示したものです。

# ■ 今後の施策 ■

## 競技スポーツ

**目標** オリンピック出場選手数：リオ大会20名、平昌大会5名、東京大会30名  
国民体育大会総合順位：天皇杯8位、皇后杯8位

### (1)選手の育成強化について

#### ①ジュニアからトップアスリートまでの一貫した育成・強化の確立を支援します。

当協会では、「ぎふ清流国体」に向けて岐阜県から国体強化対策事業などの委託を受け、競技団体に対する支援を行ってきました。また、「ぎふ清流国体」開催後にはジュニア世代を対象とした強化事業も受託し、競技団体が行うジュニアからトップアスリートまでの一貫した育成・強化体制の確立を支援してきました。

今後は、競技団体との連携を更に強化し、本県における一貫指導体制の機能向上に向けた取り組みを支援します。

#### ②アスリートへの科学的サポートの強化に取り組みます。

現在、本県におけるアスリートに対する科学的サポートの拠点である「岐阜県スポーツ科学センター」の運営を指定管理者制度により当協会が行っております。

今後、オリンピックや国際大会などで活躍できるアスリートを多く輩出していくため、スポーツ科学における様々な分野の専門家を雇用し、「岐阜県スポーツ科学センター」の機能を拡充することでサポート体制の強化に取り組みます。



#### ③岐阜県と協力してジュニア世代の発掘・育成に取り組みます。

子ども達が自分に適した競技種目に出会い、適切な指導を受けることができる環境を整える新たな取り組みとして「清流の国ジュニアアスリート育成プロジェクト」が開始されました。

このプロジェクトでは、運動能力測定による人材の発掘、発掘した人材に対する多競技種目体験や知的プログラムを通しての育成、育成プログラム終了後に適性種目の助言といった取り組みが実施されています。当協会も岐阜県と協力し、このプロジェクトを通じたジュニア世代の発掘・育成に取り組みます。



## (2)指導者の養成について

### ①講習会の充実を図り指導者の養成に取り組みます。

質の高い指導体制を確立するためには、指導者の養成は欠くことができません。

当協会では、これまで競技力向上研修会や（公財）日本体育協会公認スポーツ指導員養成講習会などを開催し、指導者の養成に取り組んできました。

近年では、科学的な理論に基づいた指導が主流となってきているため、今後は、岐阜県と協力しながらスポーツ科学分野に着目した専門的な情報提供に取り組みます。

### ②指導者の資格取得の支援に取り組みます。

現在では、国民体育大会をはじめとするトップレベルの大会に監督やコーチングスタッフとして携わるためには、指導者資格の取得が必須条件となってきております。

今後は、これまで行ってきた（公財）日本体育協会公認スポーツ指導員養成講習会の開催方法を見直し、競技団体と一体となって長期的な養成計画を策定するなどして、計画的に指導者の資格取得支援に取り組みます。

また、岐阜県からの委託事業を有効に活用して、競技団体において中核的な役割を果たす指導者の中央講習会への派遣などにも取り組んでいきます。



### ③指導者の指導力向上に向けた取り組みを支援します。

より質の高い指導を行うためには、資格を取得することも重要ですが、実践での応用や他の優秀な指導者から指導方法を学ぶことが必要不可欠となります。

前述の委託事業の活用により、競技団体指導者の指導力向上に向けた取り組みを支援します。



### (3)組織の育成・強化について

#### ①トップアスリート拠点クラブの育成や強化に取り組みます。

「ぎふ清流国体」に向けた強化策のなかで、大きな成果をあげることができた取り組みの一つに当協会が中心となって行った「岐阜方式」による強化チームの育成方策がありました。これは、県内の多くの企業から多大な協力を得て、複数の企業に選手を雇用していただき、スポーツの活動はクラブにおいて行うという取り組みでした。「ぎふ清流国体」終了後も「トップアスリート拠点クラブ」として継続的な活動を展開しております。

今後は、これらのクラブが全国のトップで引き続き活躍できるよう積極的に支援していきます。

また、当協会が指定管理者として運営する岐阜メモリアルセンターにおいて活動を展開する「岐阜メモリアルセンタートップアスリートクラブ」の運営を通じて、ジュニア選手の育成・強化にも取り組みます。

#### ②競技団体の支援・育成に取り組みます。

競技団体の努力により、本県の競技力は飛躍的に向上し、「ぎふ清流国体」において天皇杯・皇后杯を獲得することができました。現在では、「ぎふ清流国体」に向けた取り組みが契機となり、国民体育大会において好成績を維持しております。

今後は、2020年の東京オリンピックに向けて、より一層の組織力強化に取り組むと共に、強化に対するビジョンを持った取り組みが展開できるよう、競技団体に対する支援・育成に取り組みます。

### (4)競技スポーツを支える環境の整備について

#### ①トップアスリートの就業支援に対する取り組みに協力します。

現在、岐阜県においてトップアスリートが安定した就職先を確保し、安心して競技に打ち込める環境づくりを行う取り組みが計画されています。

当協会もこの取り組みを支持し、県や競技団体と連携して、トップアスリートの就業支援に協力します。

#### ②指定管理施設の運営を通じて練習会場の確保に取り組みます。

「ぎふ清流国体」終了後、当協会は本県における中核的スポーツ施設である岐阜メモリアルセンター、岐阜県長良川球技場の指定管理者となり施設運営を行っております。

施設運営において、トップアスリートの練習環境の確保に積極的に取り組みます。



## 生涯スポーツ

### 目標 県民(成人)のスポーツ実施率65%

#### (1)スポーツに関わる機会の提供について

##### ①地域スポーツイベントの充実に取り組みます。

県域スポーツイベントを開催することは、スポーツへの参加機会を提供するだけではなく、地域における予選会の開催や日常練習会の実施にもつながり、県民の日常的なスポーツ活動の促進やスポーツ組織の活性化に貢献することが期待できます。

当協会では、これまで「岐阜県民スポーツ大会」を開催することで、『都市代表種目』において郡市の代表が本県の頂点を目指して競い合う機会や、『フリー参加』『交流体験種目』において誰でもスポーツに参加することができる機会を提供してきました。

また、「ぎふスポーツフェア」の開催において、様々な競技種目の大会や『カンガルーカップ国際女子オープンテニス』といった世界レベルの大会を実施することにより、「観るスポーツ」の機会を提供してきました。

今後は、これらのスポーツイベントに加えて「ぎふ清流郡市対抗駅伝競走大会」などの県域スポーツイベントを継続的に開催することで、スポーツに様々な形で関わることができる機会の提供に取り組みます。

##### ②スポーツに関する情報の発信に取り組みます。

当協会では、指定管理事業の一環として「岐阜県スポーツ総合情報システム」を運営し、本県における様々なスポーツ情報の提供を行っております。

また、「スポーツリーダーバンク」を運用することで、地域の現場において指導することを希望する有資格指導者をホームページ上で紹介し、指導者を求める団体などに対する情報提供を行ってきました。

今後も、県民の誰もが気軽にスポーツに関わることができるよう、スポーツに関する様々な情報を提供することに取り組みます。



## (2)スポーツを支える人材の育成について

### ①クラブマネジャー及び指導者の育成に取り組みます。

総合型クラブなどの地域クラブの発展のためには、組織運営のためのノウハウを持つ人材の育成が必要不可欠となります。

当協会では、岐阜県からの委託事業を活用し、(公財)日本体育協会公認指導者制度のマネジメント資格であるクラブマネジャー・アシスタントマネジャーの養成に取り組みます。

また、地域スポーツの現場において、子ども達が発育・発達段階に応じた適切な指導が受けられる環境を整備するため、競技団体や総合型クラブなどと連携しながら、(公財)日本体育協会公認指導員等の養成や、指導者の資質向上のために研修会の開催・開催支援に取り組みます。



### ②地域でスポーツを支える人材の連携強化に協力します。

本県において、総合型クラブの連絡協議会組織である「ぎふ清流の国SCネットワーク（以下、『清流ネット』という。）」が、クラブ間相互の交流を深め、連携することにより、各々のクラブの発展に貢献することを目的とした活動を展開しております。

当協会において運営する「ぎふ広域スポーツセンター」は、清流ネットや県、市町村などと連携しながら、地域でスポーツを支える人材の連携強化に協力していきます。

## (3)推進組織の育成について

### ①「ぎふ広域スポーツセンター」を運営し、総合型クラブの創設・育成を支援します。

当協会では、これまで10年間に亘って、岐阜県の委託事業により「ぎふ広域スポーツセンター」を運営し、総合型クラブの創設・育成支援に取り組んできました。

現在は、県内の殆どの市町村に総合型クラブが創設されましたが、様々な問題により組織運営に苦慮しているクラブも少なくありません。

今後も、これまで培ったノウハウを活かしながら、総合型クラブの自主・自立に向けた支援に引き続き取り組みます。





**②「岐阜県スポーツ少年団」を運営し、地区スポーツ少年団連絡協議会・市町村スポーツ少年団と連携しながら、スポーツ少年団活動を支援します。**

岐阜県スポーツ少年団（以下「本団」という。）では、現在に至るまで、「青少年の健全育成」を理念に掲げ、青少年のスポーツ活動の推進に取り組んできました。これまで県下最大の少年団体としてスポーツ活動の導入期を担い、「スポーツ好き」の青少年の育成に尽力してきました。

しかし、昨今のスポーツ現場においては、少子化や余暇の選択肢の多様化に伴うスポーツ離れが懸念されており、本団においても、団員の減少や指導者の体罰など、様々な問題に直面しております。

今後も引き続き充実した少年団活動が展開できるよう、下記のように取り組みます。

**◎団員の確保について**

平成29年度から幼児も登録対象となることを受けて、幼児への加入促進と、アクティブ・チャイルド・プログラム（ACP）などといった運動遊びプログラムの周知により、幼児期からスポーツを楽しむことができる環境を提供します。

また、スポーツ少年団は1小学校区1団を基本としていますが、少子化により団員が集まらず存続が困難となるケースも少なくありません。この問題に対応するため、小学校区を越えた単位団の形成を促すことで、団活動が継続できるよう取り組みます。

**◎指導者の資質向上について**

いきすぎた勝利至上主義による暴言や暴力行為を根絶するため、研修会・講習会等を開催し、団員から慕われ魅力ある指導者を養成します。

また、平成26年度から1単位団に対し、複数の有資格指導者の配置が義務化されました。これに合わせ本団においても、全単位団に複数有資格指導者が配置されるよう、認定員資格の取得を促進します。

**◎総合型クラブとの連携について**

県内市町村におけるスポーツ少年団と総合型クラブとの連携状況に関する意識調査や実態調査を行い、現状を把握します。

また、ぎふ広域スポーツセンターと協力し、全国各地において総合型クラブなど関係団体と有効的な連携に取り組んでいる事例を提供するなどして、スポーツ少年団が、これまで以上に地域のスポーツ推進に貢献できる方策を提案します。

**③地域で活動するクラブや各競技団体の連携強化を促進します。**

現在、地域において活動を展開する総合型クラブ、スポーツ少年団、競技クラブ、放課後クラブなどは、構成員や指導者、組織運営をする人材の不足や、活動場所や財源の確保が困難になっているといった様々な課題を抱えております。一方でこのような団体は、各自が独自に活動しており、団体間の連携が充分にできていないため、それぞれの活動を補完できていない現状もあります。

今後は、地域におけるスポーツ推進がより一層図られるよう、こういった団体間の連携を促進することにより、各団体が自主・自立していくための支援に取り組みます。

## 組織・施設運営

### 目標 本県のスポーツ推進に永続的に貢献していくことができる組織の確立



#### (1) 指定管理事業の継続受託について

##### ① 県有スポーツ施設の指定管理事業の継続受託を目指し、強固な組織運営を展開できる財源の確保に取り組みます。

当協会は、平成25年度に指定管理事業を受託し、本県の中核スポーツ施設である「岐阜メモリアルセンター」「岐阜県長良川球技場」「スポーツ科学センター」の運営を行ってきました。

当協会が指定管理事業を実施した理由は、「より公益性の高い事業やサービスを、ますます多様化する県民ニーズに幅広く応えながら、よりスピードを持って、きめ細かく実行していくため」です。本県の競技力の向上や生涯スポーツの推進の担い手である当協会が、施設運営を行うことで、スポーツ事業のソフト面とハード面の両面で相乗効果が生まれ、より成果が得られる仕組みを構築してきました。また、指定管理事業から得られる収益によって、安定した運営基盤を確立し、組織体制の強化にも取り組んできました。

現在、当協会が指定を受ける県有スポーツ施設の指定管理期間は、平成29年度までとなっており、平成30年度からは第2期指定管理が開始されると思われます。

このため、当協会が、本県のスポーツ推進に永続的に貢献していくことができるよう「岐阜メモリアルセンター」をはじめとする県有スポーツ施設の指定管理を継続して行えるよう全力で取り組みます。

#### (2) 指定管理によるスポーツ施設の運営について

##### ① 大規模スポーツイベントを積極的に誘致・開催します。

これまで当協会は、加盟団体と連携・協力しながら、国際大会や全国大会などの大規模スポーツイベントを積極的に誘致・開催することで、「観るスポーツ」の機会を提供してきました。

大規模スポーツイベントの開催は、本県のみならず、全国や海外からの来客が期待でき、岐阜県が推進する「スポーツによる交流人口の拡大」に貢献することができます。

今後も加盟団体と連携・協力しながら、「観るスポーツ」の機会を提供し、スポーツを通じた交流促進に取り組みます。



## ②岐阜県が取り組む合宿誘致に積極的に協力します。

現在、岐阜県において、2020年東京オリンピック・パラリンピック等のメガスポーツイベントの開催を絶好の機会と捉え、県内のスポーツ施設のブランド価値を高め、“スポーツの聖地”づくりを進めるために、国内外のトップアスリートや強豪チームの合宿等の誘致活動を展開しています。

当協会が運営する「岐阜メモリアルセンター」も、これまで海外のオリンピック委員会などの視察を受け入れ、様々な施設が隣接する利便性の高さや、絶好のロケーションなどが高い評価を得ており、今後、世界のトップアスリートによる合宿の開催が期待されています。

世界のトップアスリートとふれあう機会を持つことは容易なことではなく、特に子どもたちにとっては、大変貴重な経験となります。

当協会としても岐阜県の取り組みに賛同し、施設管理者として積極的に協力していきます。

## (3)組織体制の強化について

### ①多岐に亘る事業を展開するため、事務局体制の強化に取り組みます。

これまで述べた多岐に亘る事業を展開していくためには、スポーツ推進や施設運営などに関する知識や経験など、事業展開に求められる職員の能力要件を見極め、適切な人材を各部署に配置していかなければなりません。

今後の組織の発展を見据えて、必要な職員の登用に積極的に取り組むとともに、研修会を計画的に実施することで、職員の資質向上を図り事務局体制の強化に取り組みます。

### ②各種事業の実施を通じて、加盟団体の育成や各団体間の連携強化を支援します。

当協会の使命は、本県全体のスポーツを推進していくことです。この使命を果たすためには、それぞれの競技を推進する競技団体、各地域のスポーツを推進する地域体育協会、学校におけるスポーツを推進する学校体育団体などの当協会加盟団体が、それぞれの団体に求められる取り組みを展開していく必要があります。

当協会は、加盟団体に対して競技力向上事業、スポーツ推進事業、加盟団体育成事業の実施や『県民スポーツ大会』『郡市対抗駅伝競走大会』等の大会開催を通じて、「つなぎ」「みちびき」「支える」役割を果し、本県全体のスポーツ推進に貢献します。





岐阜県体育協会 第3次将来構想 発行/平成28年6月

---

〒502-0817 岐阜市長良福光大野2675-28 岐阜メモリアルセンター内 公益財団法人 岐阜県体育協会  
TEL.058-297-2567 FAX.058-297-2568